

ようこそ、プラネット・スノーへ

Welcome to PLANET SNOW

PLANET SNOW

upas mintar / upas nociw

札幌国際芸術祭

SAPPORO INTERNATIONAL ART FESTIVAL
Usa Mosir un Askay utar Sapporo otta Uekarpa

SIAF 2027 1.16^{SAT} _ 2.21^{SUN}
札幌市内11会場を中心に開催
Held across 11 venues in Sapporo

写真・題字・キャラクター：大西重成（シゲチャンランド） Photo / Calligraphy / Character: ONISHI Shigenari (shigechanland)

プラネット・スノーの幕開けまであと半年

サイアフ
SIAF2027のビジョンを体現する新たな参加アーティストとともに
新会場も加わった全11会場の詳細をアップデート

公募・参加型プロジェクトも勢揃いし、市民と共創する芸術祭の実装が始まります

札幌国際芸術祭2027(略称:SIAF2027)では札幌をひとつの星“プラネット・スノー”に見立てそこに暮らす人類の営みや歴史・文化、そして未来の在り方を考えます

全11会場を舞台に

プラネット・スノーの景色が動き出す [詳細はP2~5]

第3弾となる国内外からの参加アーティスト9組が新たに決定。これまでに発表した15組を含め、展示する会場が確定しました。SIAF2027を構成する会場が、プラネット・スノーにおいてそれぞれの役割を担う11のロケーションとなり、そこに広がる世界が具体的に立ち上がってきました。

また、イニシアティブ・パートナー*1 1社、オフィシャル・パートナー*2 2団体が、それぞれの持つ専門性やプラットフォームを生かした独自の形態で参画します。個性豊かなアーティストやパートナーと共に、未知なるプラネット・スノーの景色を描き出していきます。

*1 イニシアティブ・パートナー … SIAF2027のテーマを踏まえて、自社の知見を活用し、展示やプログラムなどをSIAF事務局と共創するパートナー企業

*2 オフィシャル・パートナー … SIAF2027のテーマに賛同し、互いの特性や専門性を生かしたプログラムの実施・協力により、共にSIAF2027を創り上げるパートナー



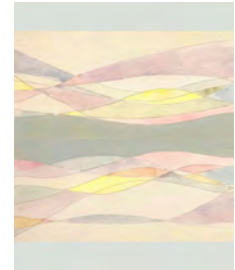
Fanja BOUTS 《A Largely Distorted yet Surprisingly Ordered Map of Regular Irregularities: A Dense Description of The Present Day History of The Future》2023
Photo by Simon PILLAUD



Cecilia BENGOLEA 《Lightning Dance》2018



ADA水景クリエイター《風薫る石景》2023
©AQUA DESIGN AMANO

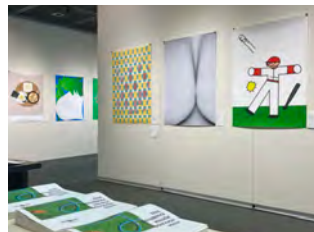


保手演 拓《風景》2024

大きく広がる公募・参加型プロジェクト [詳細はP6~7]

SIAF2027では、会場やパートナーなどとの協働により、多彩な公募プロジェクトを実施します。アーティストやクリエイターに限らず、広く芸術祭への参画を呼びかけます。

また、冬のアートイベントを巡るプログラム「みんなでウパッテ!!」、来場者とSIAFをつなぐサポーターとして市民が会場案内や作品ガイドを行う「ふむふむプロジェクト」もSIAF2024から継続して実施します。



前回SIAF2024をベースに、さらなる発展を目指すSIAF2027

「創造エンジン=未来志向を生み出す仕掛け」「文化インフラ=未来を垣間見る体験を提供」「市民参加=市民や企業の参画/社会のためのアート」の3つをキーワードに掲げたSIAF2024。芸術祭を“未来の学校”と捉えた発見・体験・学びを提供する市民参加プログラム「SIAFスクール」、SIAFと企業がともに未来を志向するイニシアティブ・パートナー制度など、SIAFの生態系ともいえる基盤が生まれました。SIAF2027では、この基盤を継承しながら、寒さや積雪といった札幌特有の都市の魅力为背景とした3つのビジョン——「札幌ならではの独自性を生かす」「市民を中心に、誰もが参加・体験しやすい芸術祭にする」「持続可能な仕組みを構築する」——を、SIAFの特色として強化していきます。この場所に暮らす人たちが、地域に根差したコミュニティや仕組み、企業との共創を前回以上に拡充させます。

またこのたび、新たに「誰もが安心して参加し、多様な表現と鑑賞を実現するための基本方針」を策定しました。SIAFは「つながるさっぽろ条例」が掲げる共生社会の理念のもと、地域の歴史や文化をはじめとする多様な価値観への理解を深めながら、誰もが安心して表現し、鑑賞し、参加できる芸術祭を目指します。本方針についての詳細は、本日(6月19日)よりウェブサイトでご覧いただけます。



Photo by KUSUMI Erika

9組の新たな参加アーティストの決定とともに、各組の展示会場も確定しました。
 2023年にオープンした都市型水族館も加わった全11会場を舞台に、プラネット・スノーの風景
 が描かれていきます。

●は新規発表名



アオアオ サッポロ
AOAO SAPPORO●

札幌市中央区南2条西3丁目20
 moyuk SAPPORO 4-6階

企画担当：細川麻沙美・丸田知明
 アーティスト：ADA水景クリエイター●

札幌のど真ん中、狸小路の商業施設 moyuk SAPPORO 内にある都市型水族館「AOAO SAPPORO」が、新たに SIAF 2027の会場となりました。目玉となる ADA水景クリエイターが手がけるネイチャーアクアリウムゾーンでは、石で風景を描き出す石組水景が絵画のように浮かび上がります。実はこれが、さっぽろ雪まつり大通会場で展開される ENESSの《Iwagumi Air Scape》の着想源。この繋がりを生かし、常設展示を中心に芸術祭と水族館をかけた企画を開催予定です。



ADA水景クリエイター《風薫る石景》2023
 提供：ナカサアンドパートナーズ



ADA水景クリエイター《悠久の森》2023
 ©AQUA DESIGN AMANO



Photo by KUSUMI Erika

札幌市民ギャラリー

札幌市中央区南2条東6丁目

企画担当：金澤 韻
 アーティスト：Cecilia BENGOLEA●、Fanja BOUTS●、CHEN Xi●、川上りえ、
 Akkarawin KRAIRIKSH●、森 夕香●、シゲチャンランド (大西重成)、若木くるみ

プラネット・スノーを巡る旅の出発点となる札幌市民ギャラリーでは、新たに5組のアーティストが決定しました。ニッティングによって資本主義の世界図を編み上げる Fanja BOUTS、独創的なダンスを踊るジャマイカのダンサーたちを雷雨の中で撮影した Cecilia BENGOLEA、植物と人間が溶け合う世界観を表現する 森 夕香、自宅の庭を訪れた小動物たちを詳細に記録する Akkarawin KRAIRIKSH。また3Dアニメーションを手がけ世界的に高い評価を得る CHEN Xiが、今回、雪の世界で生き延びる者たちの姿を描いた新作映像インスタレーションを発表。人間中心の遠近法をほどこし、ミクロン単位の胞子から惑星規模のディープタイムまで、スケールを大胆に往還する声が響き合います。



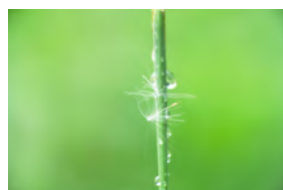
Fanja BOUTS 《A Largely Distorted yet Surprisingly Ordered Map of Regular Irregularities: A Dense Description of The Present Day History of The Future》2023
 Photo by Josefina EIKENAAR



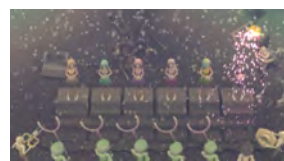
Cecilia BENGOLEA 《Lightning Dance》2018



森 夕香 《Continuum》2026
 Photo by ICHIKAWA Yasushi



Akkarawin KRAIRIKSH 《Pappus》2025



CHEN Xi 《あえ……あの雪だるま、だれなの?》2027 (予定)
 ©CHEN Xi | 陈熹

PLANET SNOWの会場、アーティスト、パートナー



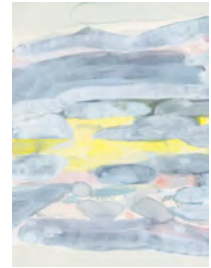
Photo by KUSUMI Erika

札幌市青少年科学館

札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20

企画担当：西 翼、磯貝なゆた（札幌市青少年科学館）●
アーティスト：保手演 拓●、Boris LABBÉ、和田ながら●

アートと科学を横断するまだ見ぬ可能性に触れる場となる札幌市青少年科学館。新たなアーティストとして、植物や風景をモチーフに、具象と抽象の揺らぎを描き出す画家・保手演 拓、日常の会話や動作を独自の視点で読み解き、人物や状況、体験を重ね合わせる技法で「演劇」を立ち上げる演出家・和田ながらが決定しました。SIAF2027キュレーターと同館職員が協働して展覧会をつくりあげます。



保手演 拓
《風景》2024



レウ・ウィジェ+和田ながら『マッサージXゴシップ』
Photo by NAKATANI Toshiaki
提供：KYOTO EXPERIMENT



北海道博物館

札幌市厚別区厚別町小野幌53-2

企画担当：鈴木明世・鈴木あすみ・水島未記（北海道博物館）●、
細川麻沙美

アーティスト：石黒 浩／いのちの未来研究所

自然・歴史・文化の膨大な資料を有する北海道博物館が、大阪・関西万博でも話題となった「アンドロイド」の登場により未来を映し出す舞台へと変容を遂げます。専門領域が異なる3名の博物館学芸員の知見と先端テクノロジーが融合。常設の展示室をも巻き込んだ、地域の記憶と未来が交差する新たな展示空間を創出します。



石黒 浩／いのちの未来研究所《ヤマトロイド》
©FUTURE OF LIFE



Photo by TAKUMA Noriko

モエレ沼公園

札幌市東区モエレ沼公園1-1

企画担当：細川麻沙美

アーティスト：fragmentin、中里唯馬

オフィシャル・パートナー：藝術と技術の対話（DAT）

モエレ沼公園は国際的な連携プログラムを通じて、人間と環境、地域性を踏まえた未来を展望する会場となります。20世紀に大きな足跡を残したアーティスト、イサム・ノグチ。彼の最大級の遺作であるモエレ沼公園を舞台に、気鋭のアーティストとオフィシャル・パートナーが、フィールドワークを実施しました。独自の切り口をコンセプトに昇華させた3つの展示を、雪原に囲まれたガラスのピラミッド内に展開します。



fragmentin in collaboration with Apian
《HIVE INDEX》



中里唯馬 参考作品
Photo by NAKAZATO Yuima



Photo by TAKUMA Noriko

札幌市資料館 (旧札幌控訴院庁舎)
札幌市中央区大通西13丁目

企画担当：漆 崇博
アーティスト：秋元さなえ、フジ森、ゴッドスコピオン、
佐竹真紀
イニシアティブ・パートナー：株式会社ワコム
協力：新千歳空港国際アニメーション映画祭

札幌市資料館を舞台に、市民参加型の“学びの入口”となる「SIAFスクール」が開校します。テクノロジーを活用した参加型作品の展示を中心に、アーティスト、パートナー、そして市民がともにつくりあげる、SIAFならではの多層的な「学校」が生まれます。夕方以降には外壁を使った屋外プロジェクションを実施。協力団体とのコラボレーションで冬の夜を彩ります。



ゴッドスコピオン《もしも、他のいきものになったら》2024



佐竹真紀《TOYOKORO》2012



中央区複合庁舎
札幌市中央区南3条西11丁目330-2

企画担当：漆 崇博
アーティスト：いわいとしお (岩井俊雄)

2025年2月にオープンした中央区複合庁舎は、市民の学びが活動として実践される“学びの出口”となります。活動に満ちたラボとして機能する本会場には、大人気絵本『100かいたでのいえ』シリーズを手掛ける、いわいとしおが参加。その豊かな想像力に触れる展示のほか、子どもも大人も一緒に「雪の惑星」をイメージした世界をつくるワークショップなど、多彩な参加型プログラムを展開します。



いわいとしお《かがみの100かいたでのいえ》2022

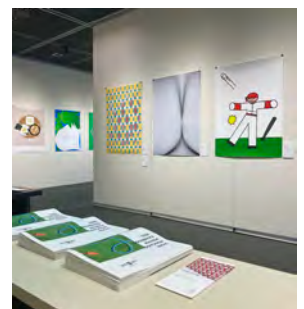


Photo by TAKUMA Noriko

札幌文化芸術交流センター
SCARTS
札幌市中央区北1条西1丁目

企画担当：丸田知明
オフィシャル・パートナー：公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 北海道ブロック (JAGDA北海道)

SIAFスタジオが担う「共創」の拠点となるこの会場では、さまざまなパートナーとの協働プログラムを実施します。SIAF2027のテーマを北海道在住のグラフィックデザイナーが自由に表現するポスター展のほか、今後魅力的な展示企画を発表予定です。



JAGDA北海道ポスター展2023の様子

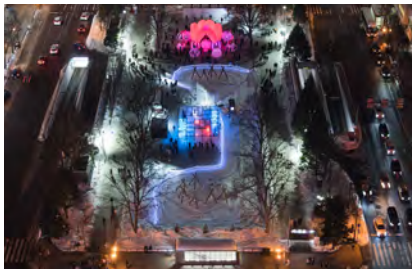


Photo by KOMAKI Yoshisato

さっぽろ雪まつり大通会場

札幌市中央区大通西1～11丁目の一区画
会期延長 2月4日(木)～21日(日)

企画担当：丸田知明
アーティスト：ENESS

大通公園の一区画をまるごと使い「PLANET SNOWの雪の広場」を創造します。展示を予定している大型インスタレーション《Iwagumi Air Scape》は、公園という公共空間における自然との調和を、壮かつ繊細に伝えます。また今回は、会場区画の会期をSIAF2027会期終了まで延長します。この街の冬の景観を一変させるダイナミックな世界観を、さっぽろ雪まつりの開催期間以降もお楽しみいただけます。



ENESS《Iwagumi Air Scape》
Photo by Ben WEINSTEIN



北海道立近代美術館

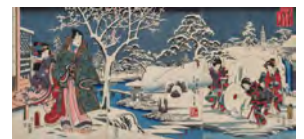
札幌市中央区北1条西17丁目

企画担当：菌部容子(北海道立近代美術館) ●
アーティスト：北海道立近代美術館コレクション作家
(相原求一朗、Emile GALLÉ、掛川源一郎、北岡文雄、小森 忍ほか) ●

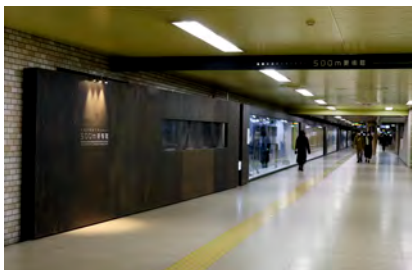
北国の冬につきものの「雪」。美術においても、雪や雪の結晶を取り上げた作品は数多くあります。それらは、雪の美しさだけでなく、その恐ろしさや厳しさを伝えるものでもあります。本展では、北海道立近代美術館のコレクションから、雪をテーマに絵画や浮世絵、ガラス、陶芸作品を紹介します。



本間完彩《雪の幌都(陸橋)》1948
北海道立近代美術館蔵



歌川国貞／歌川広重《東源氏雪の庭》1854
北海道立近代美術館蔵



札幌大通地下ギャラリー 500m美術館

札幌市中央区大通西1丁目～東2丁目
(札幌市営地下鉄大通駅とバスセンター前駅間の地下コンコース内)

企画担当：シーエーアイ
CAI現代美術研究所/CAI03 ●、
一般社団法人PROJECTA ●

アーティスト：SIAF2027 500m美術館賞 受賞者2組

札幌市営地下鉄大通駅とバスセンター前駅を結ぶ地下コンコースに位置する日本最長のギャラリー施設、札幌大通地下ギャラリー 500m美術館。この場所では、現代アートの作品プランおよび企画プランを対象としたコンペティション「500m美術館賞」を2012年より実施しています。今年度は、SIAFとの連携による特別コンペティションとして、受賞者2組がSIAF2027参加アーティストとして選出され展示を実施します。

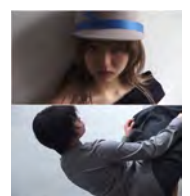


第12回500m美術館賞グランプリ
大崎晴地+KanoCo(赤川由加)
《眼のドローイング、眼のペインティング》2024
Photo by YAMAGISHI Seiji

11会場の枠組みにとらわれない参加アーティストとして、檜皮一彦はSIAF2027全体の会場づくりに参画、LAUSBUBはSIAF2027テーマソングを担当します。



檜皮一彦《HIWADROME: type_ark_spec3》
2026



LAUSBUB

SIAFはひらかれたプラットフォーム(基盤)としての芸術祭を目指し、市民や地元団体との連携・協働を深めています。SIAF2027では、会場やパートナーなどとの連携により公募企画の枠組みを大きく広げます。さらにSIAFが継続的に取り組んできた参加型プロジェクトも、いよいよ本格的に始動します。

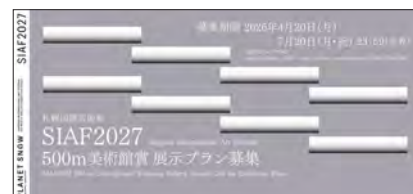
●新規プロジェクト

アーティスト・キュレーター向け

SIAF2027 500m美術館賞

募集期間：2026年4月20日(月)～7月20日(月・祝)
 展示期間：2027年1月16日(土)～3月24日(水)
 展示会場：札幌大通地下ギャラリー 500m美術館 [→P5]

「500m美術館賞」は、札幌大通地下ギャラリー 500m美術館が毎年実施する現代アートの作品プランおよび企画プランのコンペティションです。本コンペティションでは、これまで多彩な審査員により選出されたプランが展示として実現してきましたが、2026年度はSIAFと500m美術館の連携による特別版として開催します。SIAF2027のディレクターも参加する審査を経て選出される2組は、芸術祭の参加アーティストとして500m美術館を舞台に作品展示を行います。ガラスケース空間の特性を生かした、国内外からのプランをお待ちしています。



募集詳細
 札幌大通地下ギャラリー
 500m美術館公式ウェブサイト
<https://www.500m.jp>



グラフィックデザイナー向け

SIAF2027 JAGDA POSTER EXHIBITION (仮)

募集期間：2026年11月上旬～12月上旬(募集詳細は2026年10月頃発表予定)
 展示期間：2027年1月16日(土)～2月21日(日)
 展示会場：札幌文化芸術交流センター SCARTS [→P4]

日本唯一のグラフィックデザイナーの職能団体、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(略称:JAGDA)。その北海道ブロックであるJAGDA北海道が、オフィシャル・パートナーとしてSIAF2027に参加します。「PLANET SNOW—upas mintar / upas nociw」をテーマにデザイナーが自由にポスターを制作する公募企画展を、札幌文化芸術交流センター SCARTSで開催します。北海道在住のプロのグラフィックデザイナーであれば誰でもご応募いただけます。



アニメーションクリエイター向け

第13回 新千歳空港国際アニメーション映画祭 NEW CHITOSE デジタルサイネージ部門

募集期間：2026年4月20日(月)～7月31日(金)
 展示期間：NEW CHITOSE デジタルサイネージ部門
 2026年10月25日(日)～11月24日(火)
 SIAF2027屋外プロジェクト
 2027年1月16日(土)～2月21日(日)

展示会場：新千歳空港ターミナルビル内、札幌市資料館(旧札幌控訴院庁舎) [→P4]

SIAF2027は、国内最大規模のアニメーションの祭典「新千歳空港国際アニメーション映画祭」との連携プログラムを実施します。2026年11月に開催される同映画祭で新設された「NEW CHITOSE デジタルサイネージ部門」では、ループ作品を含む15秒または30秒のアニメーション作品を募集します。入選作品は、映画祭会期[2026年11月20日(金)～24日(火)]を含む約1ヶ月間、空港館内サイネージで放映するほか、SIAF2027の会場のひとつである札幌市資料館(旧札幌控訴院庁舎)において、屋外プロジェクトプログラムの一環として上映します。



第13回 新千歳空港
 国際アニメーション映画祭
 New Chitose Airport
 International Animation Festival 2026

募集詳細
 新千歳空港国際アニメーション
 映画祭公式ウェブサイト
<https://airport-anifes.jp>



● 継続プロジェクト

札幌市内のアーティスト関係者向け

みんなでウパシテ!! 2027 冬の札幌アート巡り

募集期間：2026年6月19日(金)～7月31日(金)

開催期間：2027年1月16日(土)～2月21日(日)

SIAF2024以降、毎冬実施している「みんなでウパシテ!!」は、冬のアートイベントを巡って楽しむプログラムです。アイヌ語の「雪=ウパシ」に由来するこのタイトルには、「未来に向けて走り出してみる、互いに気づきあってみる」という意味が込められています。SIAF2027の会期を含む期間に札幌市内で開催されるアートイベントとともに、今年度も冬の札幌を盛り上げます。文化施設や大学等との連携に加え、SIAF2027のテーマ「PLANET SNOW—upas mintar / upas nociw」に呼応する文化芸術プログラムを広く公募します。



募集詳細

SIAF公式ウェブサイト
みんなでウパシテ!!2027
募集要項ページ
<https://siaf.jp/upaste>



ふむふむプロジェクト

募集期間：2026年11月26日(木)締切

活動期間：2027年1月16日(土)～2月21日(日)

活動会場：札幌市民ギャラリー、札幌市資料館(旧札幌控訴院庁舎)、
中央区複合庁舎

市民が主体的にSIAFに参画し、来場者とSIAFをつなぐサポーターとして会場案内や作品ガイドを行う「ふむふむプロジェクト」。2021年に始まったこの取り組みも、SIAF2027に向けて活動を加速させます。今年度は、アクセシビリティに特化したチーム作りに初めて挑戦するほか、小中学生がガイド役として活躍する「ふむふむサポーターキッズ版」も本格始動します。アートに関する特別な知識は必要ありません。みなさんのご参加をお待ちしています。

運営：特定非営利活動法人 エゾロック ezorock



Photo by FUJIKURA Tsubasa

募集詳細

SIAF公式ウェブサイト
ふむふむプロジェクトページ
<https://siaf.jp/fumu-fumu-project>



一般向け

札幌国際芸術祭2027 開催概要

2026.6.19現在



名称	札幌国際芸術祭2027 (日本語) Sapporo International Art Festival 2027 (英語) Usa Mosir un Askay utar Sapporo otta Uekarpa 2027 (アイヌ語)
略称	サイアフ SIAF2027
テーマ	プラネット・スノー ウェル ミンタラ ウェル ノチウ PLANET SNOW—upas mintar / upas nociw
会期	2027年1月16日(土)～2月21日(日) ※一部の会場は休館日があります。下記の4会場は会期が異なります。 ・札幌市青少年科学館：2027年1月5日(火)～2月21日(日) ・北海道立近代美術館：2027年1月9日(土)～4月11日(日) (予定) ・札幌大通地下ギャラリー 500m美術館：2027年1月16日(土)～3月24日(水) ・さっぽろ雪まつり大通会場：2027年2月4日(木)～21日(日) (SIAF2027会場区画のみ)
会場	札幌市民ギャラリー／札幌市青少年科学館／北海道博物館／モエレ沼公園 札幌市資料館(旧札幌控訴院庁舎)／中央区複合庁舎／札幌文化芸術交流センター SCARTS さっぽろ雪まつり大通会場／北海道立近代美術館／札幌大通地下ギャラリー 500m美術館 AOAO SAPPORO
アーティスト	ADA水景クリエイター／秋元さなえ／Cecilia BENGOLEA／Fanja BOUTS／CHEN Xi／ENESS fragmentin／フジ森／ゴッドスコープイオン／檜皮一彦／保手濱 拓／石黒 浩 いのちの未来研究所 いわいとしお(岩井俊雄)／川上りえ／Akkarawin KRAIRIKSH／Boris LABBÉ／LAUSBUB／森 夕香 中里唯馬／佐竹真紀／シゲチャンランド(大西重成)／和田ながら／若木くるみ 北海道立近代美術館コレクション作家／SIAF2027 500m美術館賞 受賞者2組
イニシアティブ・パートナー	株式会社ワコム
オフィシャル・パートナー	藝術と技術の対話(DAT)／公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 北海道ブロック(JAGDA北海道)
ディレクターチーム	小川秀明(クリエイティブディレクター)／細川麻沙美(フェスティバルディレクター) 漆 崇博(スクールディレクター)／丸田知明(スタジオディレクター)
アドバイザー	山崎直子
ドラマトウルク	金澤 韻 (PLANET SNOWストーリー編集)
キュレーター	金澤 韻 (札幌市民ギャラリー担当)／西 翼 (札幌市青少年科学館担当) 磯貝なゆた (札幌市青少年科学館)／鈴木明世 (北海道博物館)／鈴木あすみ (北海道博物館) 水島未記 (北海道博物館)／菌部容子 (北海道立近代美術館) CAI現代美術研究所 CAI03・一般社団法人PROJECTA (札幌大通地下ギャラリー 500m美術館)
アイヌ文化コーディネーター	マユンキキ
アートディレクター&デザイナー	ワビサビ／白井宏昭
メインビジュアル	大西重成 (シゲチャンランド) [写真・題字・キャラクター]
主催	札幌国際芸術祭実行委員会／札幌市
助成	令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業／在日スイス大使館／一般財団法人地域創造 公益財団法人花王芸術・科学財団／一般財団法人自治体国際化協会
協力	新千歳空港国際アニメーション映画祭

プレイベントシリーズ「SIAF2027オープントーク」

2027年1月のSIAF2027開幕に向けて、プレイベントシリーズ「SIAF2027オープントーク」がスタートしました。5月の初回は「プラネット・スノーの学校、全容公開!」と題し、今年度のSIAFスクールの取り組みを紹介しました。6月以降もSIAF2027の魅力 را 掘り下げる内容で開催します。詳細はSIAF公式ウェブサイトイベントページで随時公開します。

●SIAF2027オープントーク

Vol.2 | あなたも、あなたも、全員集合!

日 時: 2026年6月21日(日) 15:00~17:00(開場14:30)

会 場: EZOHUB SAPPORO BOOK LOUNGE

(札幌市東区北8条東4丁目1-20 サツドラホールディングス株式会社本社2階)

登壇者: SIAF2027ディレクターチーム(小川秀明/細川麻沙美/漆 崇博/丸田知明)

三橋純子(北海道教育大学岩見沢校美術文化専攻教授/SIAF2027 500m美術館賞 審査委員長)

工藤“ワビ”良平(ワビサビ/SIAF2027アートディレクター/JAGDA北海道ブロック代表)

菊地和広(グラフィックデザイナー/JAGDA運営委員)

小野朋子(新千歳空港国際アニメーション映画祭チーフディレクター)



SIAF2027ディレクターチーム
左から漆 崇博、細川麻沙美、小川秀明、丸田知明

SIAF2027最新情報(本プレスリリース発表内容)を、SIAF2027ディレクターチームがゲストと共に紹介するトークイベントです。このイベントではSIAF2027で大きく広がる「オープンコール(公募プログラム)」の枠組みにフォーカス。この取り組みで協働するパートナー団体からのゲストを迎え「完全ガイド」として徹底解説します。

Vol.3 | いよいよ公開。プラネット・スノーの物語:序章(仮)

日 時: 2026年8月23日(日) 14:00~16:00

会 場: 北海道立近代美術館 講堂(札幌市中央区北1条西17丁目)

登壇者: 金澤 韻(SIAF2027ドラマトゥルク/キュレーター)

鳥羽野 司(札幌市青少年科学館 展示係職員)

鈴木明世(SIAF2027キュレーター/北海道博物館研究職員)

菌部容子(SIAF2027キュレーター/北海道立近代美術館学芸員)

司 会: 細川麻沙美(SIAF2027フェスティバルディレクター)



Photo by KUSUMI Erika

このイベントから芸術祭のストーリーを紐解き始めます。SIAF2027の会場となる科学館・博物館・美術館の専門家が集結し、「冬」「雪」をキーワードにしたトークイベントを北海道立近代美術館で開催します。異なる専門性を持ったスピーカーによる横断的な対話を通じて、プラネット・スノーの輪郭を浮かび上がらせていきます。

Vol.4 | SIAFと企業のこれから(仮)

日 時: 2026年10月開催予定

SIAF2024の各会場で展示やプログラムを実現した「イニシアティブ・パートナー」。この連携の枠組みはSIAF2027へと引き継がれています。本トークでは、今秋公開となる新たなパートナーによるプロジェクトの全貌を大公開し、芸術祭と企業の協働により創造される未来を考えます。



お問い合わせ

札幌国際芸術祭実行委員会事務局 担当: 杉本・西

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階

Tel: 011-211-2314(平日8:45~17:15) | Fax: 011-218-5157 | E-mail: press@siaf.jp